

◎地域資源の掘り起こしなどへの支援は

問 可睡斎の護国塔建立100年展や、名倉太郎馬の顕彰などの事業が行われているが、市の評価は。

答 郷土の歴史遺産や自然遺産を大切にしている市民活動は、本市の文化レベルを向上させる有意義な取り組みと考える。これらの活動に対し、積極的に支援していきたい。

◎情報発信の方法について工夫が必要では

問 電子媒体の普及が進む中、市ホームページの改良の必要を感じるがどうか。

答 平成21年度は、ホームページに98万件のアクセスがあった。今後、時代に対応した効果的な画面構成・展開など、改善を進めていきたい。

◎農の6次産業化と米粉の活用について

問 農商工連携により、米粉の活用が広がっている。地産地消の観点から、学校給食に米粉を使用したパンを採用してはどうか。

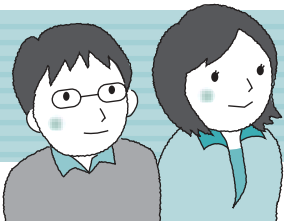
答 米粉パンは全国的に採用の動きがある。供給体制や価格等の課題が解決できれば、本市独自で、試験的に採用する選択肢もあると考える。



可睡斎護国塔建立100年展

よりよいまちづくりをめざして

## 市政に対する一般質問



◎TPPの参加はもつと熟議をすべき

問 議会は、TPPへの参加交渉を慎重に対処するよう意見書を国に提出した。市長が参加表明した真意は何か。

答 TPPの内容等に、一定の条件を付した上で、早い時期から、交渉の場に参加するべきと考える。

問 TPP参加による本市の農業への影響と、農業振興ビジョンとの整合はどうか。

答 農林水産省の試算では、TPP参加により、農業生産額が4兆1000億円減少するとされているが、県及び本市では試算していない。TPPの問題は、強い農業づくりに向けて、生産者と共に考える契機とする必要があるが、これは農業振興ビジョンの基本目標と整合すると考える。

◎浅羽方面隊の消防団員確保は

問 団員確保の問題をどう考えているのか。また、消防団員OBを活用した機能別消防制度の導入の考えはあるか。

答 各分団の歴史や、地元の意向を踏まえた上で、解決方法を考えていきたい。また、機能別消防制度は、退団年齢が統一されるまでは、指導部団員制度の活用を図っていく。



団員確保が課題である消防団の活動